

環境のひろば

214号

ふるさとを
きれいに
しましょう

発行者 / 岡山県環境衛生協会
会長 笠原 金剛

題字 / 岡山県知事 伊原木 隆太

この広報誌は“ふるさとをきれいにする運動”を推進するために配布しております。

岡山県環境衛生協会結成60周年特別号



結成60周年にあたって

岡山県環境衛生協会 会長 笠原 金剛

当協会は昭和32年に任意団体として結成され、環境衛生に関する実践活動を行うボランティア団体として、蚊やハエ等の害虫駆除から空き缶公害対策まで幅広く環境問題に取り組んできました。その間、昭和42年には社団法人に改組し、平成25年には任意団体として活動を継続し、現在に至っています。平成29年には結成60周年を迎え、その間多くの諸先輩と共に県下一円にわたり、行政と一体となって、快適で住み良い岡山県を目指して精一杯努力して参りました。

最近では地球温暖化が原因とされる異常気象による災害の多発、マイクロプラスチックなど生態系への影響が懸念されるプラスチックごみの問題など、私たちを取り巻く状況は大きく変化しています。これからも安全・安心に生活できる社会の実現を目指して、取組を続けていきたいと考えております。

最後になりましたが、当協会の活動に対し、長年にわたりご支援いただいております賛助会員をはじめとする皆さまに厚く感謝とお礼を申し上げますとともに、今後も引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。



お祝いの言葉

岡山県知事 伊原木 隆太

岡山県環境衛生協会が設立60周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

また、貴協会の会員並びに関係者の皆さま方におかれましては、県内各地域において、ごみ一斉清掃活動や不法投棄防止運動などの環境美化活動の推進など、長年にわたって県民の生活環境の改善・向上に多大なご尽力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、近年、環境を取り巻く状況は大きく変化しており、私たちは身近な暮らしへ大きな影響が懸念される地球温暖化や微小粒子状物質（PM2.5）、海ごみなどの新たな課題に直面しています。

このため、県では、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き活き岡山」の実現に向け、企業や県民一人ひとりが環境に対する意識を高め、これまでの大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済システムやライフスタイルを見直すとともに、再生可能エネルギーの利用拡大を進めるなど、低炭素・循環型社会の形成を促進する取組を進めております。

こうした中、貴協会が取り組んでおられるマイバッグ持参の率先行動や消費者への啓発活動などは、低炭素・循環型社会の形成に不可欠です。貴協会の皆さま方には、今後とも県民の生活環境の維持・向上のため、一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆さま方のご健勝、ご活躍と貴協会のますますのご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

岡山県環境衛生協会関係年表

S30年

● 「蚊とハエのいない生活実践運動」が閣議決定される

32年

● 岡山県環境衛生協議会結成

33年

● 環境衛生夏季講座及び実績発表会を開催

34年

● 自作スライドコンクールを開催

● 環境衛生指導者の設置、実施地区の増加

● ごみ集積所を設置

● 機関誌「環境の広場」第1号発行



第1号の表紙

35年

● ねずみ駆除くじ付き駆除を実施

● 地区指導者の増強、再教育を図る

36年

● 改良便そこの指導推進

● 越冬ウジ駆除運動を実施

● イエバエ駆除運動を実施

60周年に寄せて ～「環境のひろば」の果たす役割～

広報委員会 委員長 杉 秀樹 副委員長 福井 孝子
委員 二宮 万太郎、五島 榮二、山本 光夫、高木 早苗、松本 国夫

今回、214号・60周年特別号となる機関誌「環境のひろば」は、昭和34年の創刊以来、時代とともに変化する環境衛生に関わる課題を解決するための全県的な活動や県内各地域での特色ある取組について、県民の皆さまに紹介してきました。

創刊当初の頃は、ネズミや蚊、ハエといった衛生害獣・害虫の駆除などが取り組むべき大きな課題であり、ネズミ駆除の事例紹介などを行っていました。

その後の高度経済成長期においては、産業の発展とともに大気汚染・水質汚濁などの産業型公害が起き、公害病も発生し、それらの被害を訴える運動も起こりました。その対策として、環境関係の法律整備が進められ、「環境のひろば」でも水質にまつわる記事を掲載してきました。

平成の時代に入ると、昭和の終わり頃から発生した都市生活型公害と呼ばれる大量生産・大量消費・大量廃棄によるごみの発生が大きな問題になりました。この問題は、それまでの産業型公害とは異なり、市民の普段の生活が原因となって発生し、現在も続いています。「環境のひろば」でもごみの捨て方や減量化について、繰り返し紹介してきました。

近年の環境問題は、多くの方が被害者であり、加害者でもあります。最近、海ごみなどで話題となっているマイクロプラスチックの問題は、その最たるものでしょう。間もなく平成の時代が終わりを告げ、新しい時代が始まります。新しい時代に、私たちは平成の時代の課題を解決できるでしょうか。

これからも私たちが抱える環境衛生上の課題と、それらをみんなで解決していくための活動を県民の皆さまにお知らせする「環境のひろば」のご愛読、よろしくお願い申し上げます。



S37年

- 清掃事業との連携協調を開始
- 清掃美化運動を展開

38年

- 専門部会を設置

39年

- 蚊の駆除運動を実施
- 生活改善運動を実施生活部門への進出
- 日本脳炎多発による蚊駆除の徹底

40年

- コガタイエカ駆除のための第1回蚊の駆除募金

41年

- 環境衛生改善意識を学校教育に取り入れるよう教育委員会へ働きかけ
- 生活環境浄化運動を展開
- 組織活動を公衆衛生全般に拡大

コガタイエカ
(昭和54年 環境の広場90号より)

60周年に寄せて ～岡山県環境衛生協会60周年に思う～

総務委員会 委員長 藤原 清和 副委員長 徳森 勝造
委員 更谷 暢久、鈴木 邦彦、石田 七雄、稗田 良治、岩本 硬司

総務委員会では、環境衛生改善事業等の発展のために、献身的に活動を続けてきた個人や団体を対象とした岡山県環境衛生協会長表彰の選考をはじめ、当協会の規程改正案の作成など、総会・理事会に提出する議題について審議を行っています。当協会が結成60周年を迎えたことを記念し、平成30年度総会においては例年より多くの方を表彰いたしました。たくさんの方が環境衛生改善事業に携わってこられたことを改めて実感しております。

地球規模での環境問題について、21世紀を担う子供たちの意識の高揚を目的に、環境についてのポスターを募集し、その優秀作品をごみ収集車にラッピングする活動を展開している地域もあります。地道な取組ではありますが、数年間取り組んでいく中で、子供たちの応募件数が増え、将来に向けて大いに期待が持てる活動であるとのことで、このような活動にも光を当てることができるよう、引き続き取り組んで参りたいと思います。

これまで環境衛生の維持・向上のために活動をされてきた方々をはじめ、関係者の皆さまに改めて感謝の気持ちを表したいと思います。



会長表彰の表彰状



理事会の様子

S42年

43年

44年

45年

46年

47年

48年

- 社団法人岡山県環境衛生協会に改組
- 「環境衛生ハンドブック」を作成
- 環境衛生懇話会を開催
- 環境衛生募金を実施
- 環境衛生指導者研修会を実施
- ねずみ駆除技術研修会を実施
- 環境衛生指導者研修会を実施
- 清掃美化運動(川をきれいにする運動)を展開
- 廃棄物処理法が施行される
- 環境保全研修会を実施
- し尿浄化槽と環境美化が問題となる
- 環境保全普及対策事業を実施
- 環境の呼びかけ
- 利用、分別収集
- ごみの分別再生



ごみの分別収集の様子
(平成11年 環境の広場特集号より)

60周年に寄せて ～ふるさとをきれいに～

環境保全委員会 委員長 森安 創 副委員長 久山 雅生
委員 濱田 久子、松本 正志、石井 悦子、出口 祥三、手塚 幸恵

時代の流れとともに、環境保全問題も年ごとに大きくクローズアップされてきており、その問題に対する活動も大きな広がりを見せております。

地域の環境問題から地球の自然環境問題、そしてそれらの対策の遅れが及ぼす様々な災害まで含めれば、ニュース・話題の大半を占める昨今となっています。そういった時代であるからこそ、私たち環境衛生に携わる者一人ひとりの環境問題への取組姿勢を「質・意識」とともに大きく向上する必要があります。

当委員会は、環境衛生の維持・向上に向けた役員研修などの取組を行ってきました。研修会では不法投棄防止対策であるのぼり旗啓発活動や巡回監視、環境美化活動である地域ごとの清掃美化クリーン活動、3R（リデュース・リユース・リサイクル）活動など、先進的な取組事例や優良事例について、当協会役員を中心に学び、県内各地区にそれらの取組を紹介しております。

60周年を機会に、継続的な事業の動向を適時適切に関係の皆さまにお伝えして「ふるさとをきれいに」のところで環境保全委員一同、こころ新たにしております。



役員研修会（講演）



役員研修会（現地視察）

S49年

50年

51年

52年

53年

- 生物防除（タツプミノウ）事業を推進
- し尿浄化槽を正しく使う運動を実施
- ふるさとをきれいにするための1円運動を実施
- 専門委員会を設置（組織強化）
- 第1回岡山県保健衛生大会を開催
- 第1回岡山県保健衛生大会を開催
- 環境美化ポスター募集事業を実施
- ごみ資源化モデル地区を設置



環境美化ポスター
（昭和52年 環境の広場80号より）

- し尿浄化槽指導委員制度を創設
- 環境衛生民間指導者研修会の充実強化
- ふるさと10円運動を実施

60周年に寄せて ～リサイクル推進委員会の活動～

リサイクル推進委員会 委員長 小椋 邦子 副委員長 横田 徹
委員 熊代 勉、今中 慶一、守長 君子、野田 健一、平川 二美子

振り返れば高度経済成長の時代から、大型スーパーや小売店、コンビニ、自動販売機が増え始め、ペットボトル・缶・レジ袋などが便利に扱われだしました。しかし、その代償のようにポイ捨てが国道から細道まで、至る所で目につき、台風や大雨の後には川辺の木にはレジ袋が花のごとく引っかかっています。また、川から海へと流れ、大量の海ごみとなり、私たちの生活環境だけでなく海に住む生物にとっても大きな被害をもたらしています。

当委員会では、マイバッグ普及啓発運動として、毎月10日の「ノーレジ袋デー」に併せて、スーパーや地域でのイベント会場等に出向いてマイバッグの配布を行い、1人でも多くの人にレジ袋を断る習慣をつけてもらおうと声かけ啓発をしています。地道にごみ減量化の啓発活動を行っており、徐々に消費者一人ひとりの意識も高まっていますが、まだまだ足りないと思っています。

町や川がきれいになれば、海ごみによる生物への影響も小さくなります。ごみ減量化とリサイクル推進活動が美しい岡山県の町づくりに繋がるよう当委員会としても頑張っていきたいと思っています。今後ともリサイクルの推進にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



マイバッグ普及啓発運動

55年

- 洗剤を正しく使う運動を展開
- 人の健康保持と環境美化運動を実施
- 「環境の手引」を発行



洗剤を正しく使う運動
(昭和55年 環境の広場93号より)

57年

- 県が空き缶散乱防止対策会議を発足

58年

- 浄化槽法が一部施行される

60年

- 浄化槽法が全面施行される
- 「燃える岡山」県民運動に呼応して快適で住みよい環境づくりに取り組む

62年

- 児島湖の浄化推進に積極的に取り組む

岡山県環境衛生協会賛助会員（敬称略・順不同）

当協会の活動にご賛同いただきありがとうございます。
新規賛助会員も募集しています。（1口 12,000円）

(株)三井E&Sビジネスサービス	(株)岡山美装	シャープタカヤ電子工業(株)
パンパシフィック・カップー(株)	(有)ムロタ設備工業	ローム・ワコー(株)
ナйкаイ塩業(株)	(株)テクノ窯工	(株)クリーンサービス・イバラ
北興化学工業(株)岡山工場	岡山大鵬薬品(株)	(株)井原環境保全
中国衛材(株)	大鵬薬品工業(株)岡山工場	(株)大島製作販売所
山陽薬品(株)	(株)メイト	(有)浅口清掃センター
岡山電業(株)	サッポロビール(株)岡山ワイナリー	(有)ふしもと
東洋産業(株)	大饗工業(株)	(株)志多木組
蜂谷工業(株)	谷尾食糧工業(株)	井原精機(株)
(協)岡山市環境整備協会	(有)フレヴァン	大興産業(株)
岡山県環境整備事業(協)	(協)倉敷市環境保全協会	高梁浄化槽センター
(一社)岡山県ペストコントロール協会	(株)橘香堂	(株)三美産業
(株)高島屋岡山店	(株)クラレ倉敷事業所	(株)吉備ケーブルテレビ
(有)吉備環境設備	(株)エスシー	中村建設(株)
(一社)岡山ビルメンテナンス協会	倉敷企業合資会社	山陽興産(株)
岡山県浄化槽施工(協)	山陽美業(株)	高梁川漁業協同組合
(公財)岡山県健康づくり財団	やま幸山本幸(株)	新見環境(有)
全国農業協同組合連合会岡山県本部	(有)アーバンホール	銘建工業(株)
(一社)岡山県産業廃棄物協会	(株)サンヨー・フィル	真庭環境衛生管理(株)
日本エクスラン工業(株)西大寺工場	新日本清掃(有)	エコシステム山陽(株)
(株)西日本アチューマツククリーン	(有)新生	エコシステムジャパン(株)
テイカ(株)岡山工場	(有)中央クリーン	日本植生(株)
ユニバーサル製缶(株)岡山工場	(公社)倉敷環境検査センター	坂本建設(株)
(株)アサヒエンジニアリング	(株)クラボウドライビングスクール	(株)大市珍味岡山工場
(株)川本	(福)祥陽会	(有)美咲ファーム
広成建設(株)岡山支店	カミシマ技研(株)	(株)フルベジファクトリー
アイサワ工業(株)	タカヤ(株)	(株)山田養蜂場

(平成31年1月末現在 81会員)

H元年

- し尿浄化槽指導委員制度を廃止し、浄化槽相談員制度を創設

3年

- ごみ減量化・リサイクル推進運動を重点方針に設定

13年


- 家電リサイクル法が施行される

25年

- 小型家電リサイクル法が施行される
- 公益法人改革を受け、社団法人岡山県環境衛生協会を解散するとともに岡山県環境衛生協会（任意団体）として活動継続

29年

- 岡山県環境衛生協会結成60周年



ごみ減量化促進対策全国大会
(平成3年 環境の広場135号より)

岡山県環境衛生協会の今後の活動目標

環境衛生に係る問題は、経済活動や産業活動が発展し、私たちの生活が豊かになるにつれ変化してきており、当協会はこれまで、時代のニーズに合わせて様々な実践活動を行って参りました。

現代の大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済社会活動による環境への負荷は大きく、生活環境の維持・向上のためにはその軽減が不可欠です。

食べられるのに捨てられてしまう食品ロスや微細なプラスチックごみであるマイクロプラスチックなどが近年話題となっています。当協会では、以前からマイクロプラスチックの発生源の1つとされているレジ袋の削減に向けたマイバッグ啓発活動を行っています。

地域のより良い環境づくりを行っていくため、環境美化活動の推進やレジ袋削減に向けたマイバッグ持参の率先行動及び消費者への啓発活動を重点方針とし、その取組の輪が広がるよう活動内容の発信にも努めて参ります。

編集後記

事務局

今回発行された「環境のひろば」は当協会の結成60周年記念号であり、214号となります。これまで継続して環境衛生に関する記事を紹介して参りましたが、今回は当協会の活動や歴史についても知っていただくため、いつもとは趣向を変えた内容で発行いたしました。

60年間の歴史を振り返るにあたって、当時どのような課題があり、当協会としてどのような活動を行ってきたのか、これらを知る上で過去の「環境のひろば」が大変参考になりました。

今後も環境衛生に関する知識の普及及び実践活動を行うボランティア団体である当協会を、事務局としてしっかり支えていこうと改めて感じました。

会長・副会長・監事

会 長 笠原 金剛

副会長 熊澤 義郎、室田 勉、延堂 俊輔、守屋 新一、高山 康晴、岡阪 孝信

監 事 松井 健治、藤井 宏市、治郎丸 勲

地域環境の保全・創造に

貢献する地域で

最も必要とされる組織へ



公益財団法人

岡山県環境保全事業団

〒701-0212 岡山市南区内尾 665-1
TEL (086) 298-2122 (代)
FAX (086) 298-2496

有害な生物防除のプロ集団

カ・ハエ・ゴキブリ

ノミ・ねずみ・ハチ等の防除

一般社団法人

岡山県ペストコントロール協会

〒701-0152 岡山市北区延友454
電 話 086-293-5990

“生活排水の処理は浄化槽で”

一般社団法人

岡山県浄化槽団体協議会

会 長 八 田 富 夫
副 会 長 乗 藤 慎 吾
" 大 森 文 太 郎
常 務 理 事 梶 英 正

〒703-8282 岡 山 市 中 区 平 井 1097
電 話 086-276-8585
FAX 086-276-9081

お問合せ先

岡山県環境衛生協会事務局（岡山県環境文化部循環型社会推進課内）

岡山県岡山市北区内山下2-4-6

TEL.086-226-7307 FAX.086-224-2271